

号数	掲載年月日	タイトル	見出し①	見出し②
1	2015/10/3	防火帯建築を歩く	横浜 復興象徴の街並み	耐火性高めた「立体的な町家」
2	2015/10/10	革新自治体どこに	「市民参加政治」の先駆	「憲法を暮らしに」めざした理念
3	2015/10/24	「忘れられた天才」五姓田義松	早熟ゆえ 時代遅れの画風	開港都市・横浜 明治の光と影
4	2015/10/31	「廻り地蔵」と「おしゃもじさま」	すくすく育て 願い込め	モノが語る 変わらぬ親の思い
5	2015/11/7	郷土史研究家 黒田康子さん	庶民の姿こそ歴史	戦死の夫の思い継ぎ 論文350点
6	2015/11/14	革新自治体とは何だったのか	政策転換 国を動かした	「住民の代表とは」今も問いかけ
7	2015/11/21	一暹聖絵、3館で一挙に公開	鎌倉社会をのぞく望遠鏡	無数の人々 喜怒哀楽にあふれ
8	2015/12/12	ロシア・極東の岩絵展	歴史の謎に迫る強い思い	縄文時代の線刻画とそっくり
9	2015/12/19	秦野の「天地返し」遺跡	農民の苦闘、刻んだ大地	富士山噴火、降灰から自力復旧
10	2016/1/9	磯子の「屋根なし市場」	「歌姫」ひばり 巣立った町	仮設舞台の少女 熱気が包んだ
11	2016/1/16	幻の宇垣内閣	政変 六郷橋で幕開いた	昭和12年 軍が直接政治に介入
12	2016/1/23	笹山小学校の歴史資料室	地域ぐるみ 眠る民具整備	大型農機から日用品まで170点
13	2016/1/30	「日本史のなかの横浜」出版	「歴史見直す視点 必要」	五味文彦・東大名教授に聞く
14	2016/2/6	鎌倉の大仏	誰が造った？ 動機・材料も謎	「幕府が」「中国銭から」説も
15	2016/2/13	伊勢佐木町の神輿	大正時代の繁盛ぶり 反映	木彫は高村光雲の「国宝級」
16	2016/2/20	姉妹都市50年のマニラ展	横浜との縁 「港町」に探る	戦国時代の日本から移住も
17	2016/2/27	県立2博物館 初の共同企画	石を知り抜いた先人たち	活用の軌跡 旧石器から現代まで
18	2016/3/5	称名寺貝塚展	縄文社会の転換期に迫る	過去の成果 最新手法で検討
19	2016/3/19	総持寺の〈至宝〉仏殿で公開	大本山の中 垣間見る機会	「刺繍法被」など重文5点も
20	2016/3/26	横浜税関倉庫	引き揚げの苦難語る品々	通貨や証券 13万人分を保管
21	2016/4/2	集団就職の「トランジスタ娘」	寮生活で高度成長担う	仕事後、「舎監せんせい」に学ぶ
22	2016/4/9	「川崎の環境」市職員OBら冊子	公害の歴史 後世に伝える	「青い空を」市民が政治動かす
23	2016/5/14	まぼろしの紙幣 横浜正金銀行券	終戦まで中国大陸で90種	最古は1902年 天津支店発行
24	2016/5/22	臨濟宗と曹洞宗	近くて遠い禅の大本山	作法披露し合って交流「史上初」
25	2016/5/29	鎌倉アカデミア 創立70周年	理想追った伝説の「大学」	4年半で閉校 多彩な人材巣立つ
26	2016/6/4	71年目の横浜大空襲	語り継ぐ 5月29日の悪夢	死者数さえ分からない無念
27	2016/6/11	特別展にぎわい新記録	没後100年 それからの漱石	「世界との関わり」冬にシンポ
28	2016/6/19	澤田美喜のキリシタン収集品	信仰守る姿 心の支えに	苦難の中 孤児の養育に尽力
29	2016/6/26	三浦半島の富士信仰	先達が導いた 民衆の願い	人と大漁旗 盛大だった山頂祭
30	2016/7/2	丹波コレクション展 市歴史博物館で	「横浜浮世絵」震災前を映す	県内の名所 江戸時代の作品も
31	2016/7/9	敗戦翌年 横浜で刷られた「細雪」	「箱入りにしろ」谷崎の注文	厚紙を探し回って刊行遅れる
32	2016/8/6	小学校に眠る文化財	地域の歴史と生活 物語る	農具や墨塗りの教科書、風呂も
33	2016/8/13	美空ひばりの〈反戦詩〉	戦中派の素朴な思い表す	同じ磯子育ち 松山善三が作詞
34	2016/8/21	関東学院の〈殉教者〉コベル夫妻	教育の場で平和主義貫く	追放先で日本軍に殺害される
35	2016/8/28	降伏・進駐軍…警察の治安報告書	敗戦直後の民心 生々しく	為政者・軍人に厳しい言葉並ぶ
36	2016/9/3	関東大震災と朝鮮人虐殺	「流言」信じ、民衆が加害者	不安や差別、貧困…惨劇の背景
37	2016/9/10	国宝になった称名寺聖教	神と仏 あいまいな境	鎌倉期に見る日本独自の習合
38	2016/9/23	コベル先生と「不戦条約」	大戦が原点 平和への決意	関東学院の教え子、思い継ぐ
39	2016/10/1	横須賀市史資料の管理問題	地域史 どう向き合うのか	保管・研究の意味 問いかける
40	2016/10/2	重要文化財になった氷川丸	激動の近代 伝える航跡	戦時下に病院船 そして復員船へ
41	2016/10/8	「杉原千畝と命のビザ」展	横浜にユダヤ難民の足跡	世界への逃避行 経由地
42	2016/10/22	古代史研究・故矢野建一教授	「東アジアと留学生」に光	遣唐使・井真成の墓誌を世に
43	2016/10/30	孫文 生誕150周年の写真展	「国父」中国でも台湾でも	横浜に延べ6年間 革命を構想
44	2016/11/5	関東大震災の朝鮮人虐殺	子どもの作文 惨劇生々しく	記録700点以上 時を超えた証言
45	2016/11/12	国鉄鶴見事故から53年	地元自治会が初の慰霊祭	「命の大切さ 子や孫に伝える」

46	2016/11/27	「焼け跡に手を差し伸べて」展	孤児らを救済 民間が主導	横浜に多くの施設 活発に活動
47	2016/12/3	横浜の歴史副読本	「虐殺」は「殺害」に変わった	「非常に強い言葉」回収し廃棄
48	2016/12/10	「最初の現代人」展	人類進化の定説 大転換	思考や体つき 私たちと同じ
49	2016/12/18	関東大震災の中国人虐殺	台湾に残る被害者の記録	中国から調査団 名前まで特定
50	2016/12/25	大磯の高来神社	「高麗」から名称変え今に	時代とともに変化する歴史像
51	2016/12/30	民俗学から見た「正月」	ご先祖様 迎えるハレの日	初詣はリセット願う「新伝統」
52	2017/1/14	2017年の座標を考える	1998年境に自殺者急増	転換期 高まるナショナリズム
53	2017/1/23	東大史料編纂所の古写真研究	ビール歴史 横浜で産声	明治の初めに撮影 欧州で発見
54	2017/1/28	GHQとの窓口 終連事務局の文書 上	戦後日本の枠組み 横浜で	民主主義 72年かけ根付いたか
55	2017/2/4	GHQとの窓口 終連事務局の文書 下	「戦後日本」決めた朝鮮戦争	占領から講和へ 社会構造作る
56	2017/2/11	「和船と海運」展	江戸期の横浜 にぎわう港	物流のインフラ 大型船が往来
57	2017/2/19	東大史料編纂所の古写真研究	開業前の横浜駅 くつきり	「錦絵の世界」通説覆す発見も
58	2017/2/25	藤沢の障害者団体がたどった戦後	障害者支える施策 一歩ずつ	心のバリアーは取り除かれたか
59	2017/3/4	「ハマの史跡の物語」展	市史編纂 先人の思い脈々	震災・戦禍を経て完結に60年余
60	2017/3/11	戦国時代の明応地震	鎌倉大仏まで津波は来たか	食い違う史料と地質調査結果
61	2017/3/25	東大史料編纂所の古写真研究	明治と江戸 同居する一枚	明治5年の横浜
62	2017/4/1	遊行寺の中世文書類	焼失逃れ時宗の歴史伝える	南北朝ゆかり 書・肖像画公開
63	2017/4/8	生誕150年記念「正岡子規展」	病床から新時代の文学	短い生涯 晩年の生活に焦点
64	2017/4/22	中国で崇敬 忘れられた僧・惠尊	観音信仰の霊場 礎築く	日中往復 最先端文化を伝える
65	2017/4/29	全権松岡洋右の帰国	横浜港は歓呼の声にわいた	「日本は正しい」信じて孤立へ
66	2017/5/6	東大史料編纂所の古写真研究	藩が困窮 荒れた小田原城	天災・幕末の動乱…堀は水田に
67	2017/5/13	国宝「称名寺聖教」と「金沢文庫文書」	「武家文化の正倉院」2万点超	「世界の記憶」へ 枠超える価値
68	2017/5/20	横浜にあった「もう一つの港」	飛行艇 南洋の島々と結ぶ	「大きくて優雅」ハマっ子の誇り
69	2017/5/27	横浜・川崎・平塚 襲った焼夷弾	「消せない火災」被害甚大	米軍周到 家の構造・保険料率も調査
70	2017/6/3	川崎市立日本民家園 50周年	旧名宅 学生の発見から	市民共通の「ふるさと」作り
71	2017/6/10	自由民権運動伝える「雨岳文庫」	「人民主権」湘南社を学ぶ	願った理念 日本国憲法に脈々と
72	2017/6/17	本郷台にあった旧海軍「第一燃料廠」	代用燃料開発 科学者集う	幻の新戦闘機用「無謀な計画」
73	2017/6/24	日向薬師「平成の大修理」報告書	頼朝・政子の面影浮かぶ	本堂に鎌倉材 13世紀作の厨子
74	2017/7/1	金沢文庫の「元暁法師展」	古代日本が学んだ新羅の高僧	横浜で守った世界唯一の写本
75	2017/7/8	「檄を飛ばす」の「檄」とは	古代中国の多面体の木簡	時・距離を経て 日本では「刺激」に
76	2017/8/5	小田原藩士の「吉岡由緒書」	重職担った家の歩み記録	出版めざし支援を呼びかけ
77	2017/8/13	1939年の反英運動 横浜でも	対中苦戦の不満 支援国へ	重なる戦死者 人々の意識変容
78	2017/8/19	歴史資料としての月岡芳年	幕末と維新描く浮世絵師	明治への思い映すコレクション
79	2017/9/9	横浜の海軍技術廠支廠跡碑	調べれば身近に戦争の跡	少年工の体験聞きに台湾へも
80	2017/9/16	明治期の「官約移民」後藤潤	労働者の権利守り非業の死	ハワイに顕彰碑「義人」伝える
81	2017/9/23	謎多きカクテル「ヨコハマ」	大震災復興期の横浜宿る	外国航路がもたらした一杯
82	2017/9/30	日独伊三国同盟 成立の実情 上	私的な「手紙」に命運託す	「本国に伝えず」独特使、戦後の告白
83	2017/10/7	日独伊三国同盟 成立の実情 下	独軍快進撃 締結に急旋回	根本問題 覆い隠した密室交渉
84	2017/10/28	没後50年記念「山本周五郎展」	庶民を描いた温かな視線	妻への思い ひたむきさ紹介
85	2017/11/4	引き揚げ者の調査記録公開	築いた生活失った無念	財産放棄の代償 わずかな交付金
86	2017/11/11	加曽利貝塚 特別史跡になった理由	縄文像刷新 遺跡も再評価	2000年続いたムラ…安定の証し
87	2017/11/18	旧制甲府中「六浦会」の記念誌	軍需工場の過酷な日々	「尽忠報国高揚も両親しのび涙」
88	2017/11/25	ハンガリー公使が見た三国同盟	緊迫の情勢 日本に届かず	祖父の記した教訓「後世に」
89	2017/12/2	群集墳テーマに「かながわの遺跡」展	6世紀末 急増した小型古墳	中央と交流活発化 下位豪族も築造
90	2017/12/9	米国銀の日本進出 なぜ開港40年後	南北戦争・油田…関心は国内	大陸開発一段落 目は太平洋へ
91	2017/12/16	三殿台遺跡 発掘調査から半世紀余	「弥生時代像」の変遷示す	「稲作・鉄の文化観」見直し進む

92	2017/12/23	澤田美喜の石ころコレクション	信仰を貫いた心の支え	キリスト教ゆかりの地で採集
93	2017/12/30	日本人にとっての正月	先祖もてなす 米の収穫祭	核家族化 神の存在感薄れる
94	2018/1/13	厚木の荻野山中藩陣屋焼き打ち	戊辰戦争への「引き金」	幕府を挑発した薩摩藩の策略
95	2018/1/20	元警察署長の幕末維新研究	居留地・横浜 近代警察の産声	外国軍の撤退 治安維持が条件
96	2018/1/27	横浜弁護士会と横浜裁判	戦犯が伝える戦争の実像	捕虜処刑 加害と被害が連鎖
97	2018/2/3	金沢文庫の「運慶」展	天才仏師に鎌倉幕府の支え	頼朝建立の永福寺に幻の代表作
98	2018/2/10	神道指令と大山 上	おもてなし 神社存続に一役	「国家神道と別物」GHQに訴え
99	2018/2/17	神道指令と大山 下	児童書画展 「違反」と訴追	神社の後援 問題視した米軍
100	2018/2/24	明治天皇盗撮された〈幻の写真〉	最古の姿 横須賀での宮廷装束	国際化が求めた君主の肖像
101	2018/3/3	ヨコハマ洋館探偵団の30年	洋館の保護 山手巡り続け	建物に刻まれた暮らしと歴史
102	2018/3/10	北条早雲の英雄伝説	江戸時代の軍記物で創作か	「初代の偉大さ」強調で偶像化
103	2018/3/17	普仏戦争 パリでの丹念な記録	曾祖父の日記 研究し出版	「城内は飢渴し、寒さに凍え困窮」
104	2018/3/24	「引き揚げ者と歌」2年かけ研究	過酷な体験・思いが曲に	音源探し148曲採譜「後世に」
105	2018/3/31	生誕140年「与謝野晶子展」	恋・戦争…「まことの心」詠む	大胆でパワフル 生き方たどる
106	2018/4/7	戊辰戦争 上 近づく江戸総攻撃	続々と新政府軍 緊迫の村々	人馬・米・資金徴発 減免嘆願も
107	2018/4/14	戊辰戦争 下 抗戦に向かう旧幕府勢力	彰義隊など資金求め村々に	地域社会内の矛盾も顕在化
108	2018/4/21	維新期に登戸で誕生した丸山教	開化を批判 現世の幸福追求	近代化で苦境の農村で信者増
109	2018/4/28	ヨコハマ歴博 小学生に考古学体験	「歴史」親しむ手がかりに	土器片から「考える力」学んで
110	2018/5/5	冷戦を超えたピンポン外交	独自の憲章 交流を後押し	横浜を契機に 南北合同チーム
111	2018/5/12	川崎の「橋樹官衙遺跡群」	地域の遺跡 国際情勢映す	古代の東アジア理解に新視点
112	2018/5/19	相次いだ「人権蹂躪事件」 上	拷問、贈収賄・選挙違反でも	1935年頃社会問題として顕在化
113	2018/5/26	相次いだ「人権蹂躪事件」 下	「白自させろ」検事が指揮	陪審制導入で無罪判決続出
114	2018/6/2	金属活字と明治の横浜	時代が求めた大量印刷	活版普及、日本語の近代化促す
115	2018/6/9	幻の画家・笠木治郎吉 上	庶民描いた作品、世界各地に	探し続けた母子に1本の電話
116	2018/6/16	幻の画家・笠木治郎吉 下	国内市場なく外国人の手に	「お土産絵」に分類 評価妨げる
117	2018/6/23	ウナギをめぐる民俗学	「丑・寅生まれ」禁忌なぜ	仏教・伝説…文化の地層を再発掘
118	2018/6/30	宗教者たちの戊辰戦争	御師や神官 思惑抱え参加	大山 維新に先立ち神仏分離
119	2018/7/7	100回目の高校野球 始まりは	大戦景気・中等教育 追い風	害毒論を超え「国民性と一致」
120	2018/8/4	英連邦墓地の追悼礼拝	捕虜1700人の死「忘れまい」	歴史の重み 市民が引き継ぐ
121	2018/8/11	地域から戊辰戦争を見る	最前線・横浜 庶民の文書に	2館が調査・研究の成果展示
122	2018/8/18	ベトナムへ贈る米戦車を止める	46年前 村雨橋で座り込み	横浜市、法令盾に通行認めず
123	2018/8/26	津波の痕跡 三浦で初の確認	洞窟の地層「室町期に地震」	相模トラフで200年間隔、浮上
124	2018/9/8	米海軍艦載機の横須賀空襲	戦争末期 戦艦長門が標的	双方の記録乏しく「都市伝説」も
125	2018/9/15	関東大震災とその時代 上	治安機能失い 多くの虐殺	暴動・掠奪の流言「横浜が出所」
126	2018/9/22	関東大震災とその時代 下	自警団 源流に「東学討伐」	朝鮮で農民虐殺新たな資料
127	2018/9/29	文書管理 海外の現場では	厳格な規則順守の仕組み	肌で感じた日本への信頼低下
128	2018/10/6	隠された事実を掘り起こす	軍機密費 東条政権に上納	巨額の公金、敗戦後は山分けか
129	2018/10/13	「戦後横浜に生きる」展	占領下 傷ついた街と人々	社会の影に迫った写真家夫妻
130	2018/10/20	地方史・地域史とは何か	「くに」より「たみ」の姿追求	県内の先人 偉大な日曜学者も
131	2018/10/27	関東大震災 体験の伝承	朝鮮人の命 救った人々	虐殺など混乱の記録残らず
132	2018/11/3	横浜・鶴見のウチナー祭	「沖縄タウン」文化を発信	出稼ぎにルーツ助け合い集住
133	2018/11/10	駐独大使・大島浩 晩年の言葉	「私は失敗者、弁解しない」	大戦で動乱の国際情勢を回想
134	2018/11/17	防御性集落が示す古代の東北	鎌倉武士生んだ争乱社会	権益めぐる戦い「団結深めた」